



## 新年度の歩みのスタート

なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

(ヨハネの手紙第一 5章4節)

代表  
エルサレム杉澤

皆様の尊いお祈りとご献金を感謝いたします。昨年の11月に中国武漢市で始まった新型コロナ感染症により、世界各国の主要都市は相次いでロックダウン（都市封鎖・移動規制）が実施され、コロナ・ショックと呼ばれる社会・経済的影響が引き起こされています。

当ミッションでは、昨年度は11月のイスラエルチームと12月のチェコチームの2チームのみの派遣となりました。11月は当ミッションの母体、The Light of Eternal Agape(TLEA)東京アンテオケ教会の年度始まり、新年度です。クリスチャンは霊的イスラエル人であり、イスラエルは「神の国」の象徴、エルサレムは黙示録 21章の新天新地「天のエルサレム(永遠に続く天国)」の象徴です。年度初めにガリラヤ湖畔の主日礼拝で新年度のみことばを受け、私たちは「天のエルサレム」の住民であり、天に国籍のある者であることを自覚し、主イエスの本格的な宣教が開始された地、大宣教命令が語られたガリラヤの地から始まった世界宣教のバトンを引き継いで、世界各地の働き場所に遣わされていくことから1年を始めるよう導かれています。1990年の湾岸戦争があった年ですらさえイスラエルチームは派遣されていました。しかし、今年度はイスラエルがロックダウン実施中で、残念ながらイスラエルチーム派遣は中止となりました。新年度礼拝では、与えられた年度のみことば「ヨハネの手紙 第一5章4節」からパウロ秋元牧師(東京アンテオケ教会牧師)がメッセージを取り次ぎました。

黙示録時代に向かって大きな時代の変化を迎えています。今回、世界を大混乱に陥れた新型コロナの問題は始まりに過ぎず、これから次々と今までにない規模の災害や戦争、疫病等々に襲われ、世界で多くの人口が失われることが黙示録にあります。徹底して、「祈り、聞き従い、すべてを感謝する」信仰を用いて世に打ち勝った勝利を見ていきましょう。

### 今月号の内容

- 巻頭メッセージ…………… 1
- ミッションナリーズレポート…… 2-8
  - ・U.S.A
  - ・イスラエル
  - ・チェコ
- 7部門会計報告…………… 9-11
- 祈りのリクエスト/一般会計報告… 12



写真右:11月中旬、中部地方の聖会でメッセージするパウロ秋元牧師

## ■ダニエル浅野 (TLEAニューヨーク教会牧師)



ハレルヤ！皆様のとりなしのお祈りとご献金を感謝いたします。

アメリカ大統領選の後、決着がついていない不穏な動きの中で、コロナ感染がさらに急増していますが、私たちはマンハッタンで礼拝を継続し、守られています。お祈りを感謝いたします。

教会の新年度11月に入り、すぐ、ニューヨーク教会の最初からのメンバーで、今はオンライン会員であるM姉が、家族念願のメイン州に無事に引っ越しされました。2週間の隔離をした後、新しいメイン州での生活に入ります。引き続きオンライン会員として礼拝を守り、祈祷会も継続されます。M姉はご主人に対する御言葉「このしもべは立つのです。」を握って、祈っておられます。これからの新しい歩みとご夫妻の神様のご計画を祈っています。また、東京の頸椎損傷で寝たきりのT兄(義姉がNY教会に時たま参加されていましたが、私たちが風のひびき7集のCDを送った後しばらくして、誤嚥性肺炎にかかり、祈りのリクエストを受けていました。

入院中に胃瘻の手術を医者から勧められたものの、T兄が拒否され、肺炎から回復され退院後も、点滴で栄養を取っておられました。しかし、リハビリをされ、飲み込む力がついて、今は、点滴をやめて、ゼリー食だけで栄養補給を取り、声も出せるまで回復された、とT兄の義姉と奥様のT姉から、嬉しい報告がありました。お祈りのおかげだと神様に感謝されています。

ところで、ニューヨーク州の宗教法人の登記は保留としていますが、教会の銀行口座を開くために、色々と法律的問題があり、進みませんでした。そこで、ニュージャージー州で非営利法人(NPO)の登記をする方向で、今、会計士に手続きをお願いしています。

そして、パウロ秋元牧師のR1(宣教師)ビザの再申請書類を12月に移民局に提出する予定です。2年間の更新許可が下りるよう、どうぞお祈りください。

### <祈りのリクエスト>

1. 祈りの強化、主の御声に正しく聞き、従えるように。
2. インターネット・AIの働き、賛美隊の働きのため。
3. 御心のメッセージ、オンライン礼拝のため
4. 御心の方々(まず12名)、核となる奉仕者が集められるように
5. 教会の新しい名前での登記、及び銀行口座開設のため。
6. 礼拝の時間が朝9時から、10時以降に変更できるように。
7. 受け入れ体制。御霊の賜物の働き。
8. 御心の関わり、ユダヤ人との関わり。全米、中南米、ヨーロッパの働きのため
9. 健康、経済、事故・テロからの守りのため
10. 英語力アップのため

●ニューヨーク教会HP  
<http://tlccny.astone.tv/>



■フェイス佐々木  
(TLEAロサンゼルス教会牧師)



ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。皆様の貴いお祈りとご献金を心から感謝致します。

私たちの群れでは11月から新年度が始まりますが、新年度のみ言葉「第1ヨハネ5章4節」を受け、新しい歩みが始まっています。国籍は天にある者として、この地上での歩みを全うすることが語られています。この新年、今まで以上に信仰の対応をなして主の祝福に預かりたいと願っています。現在も新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が桁違いに続いている中、アメリカ大統領選挙が11月3日に行われました。



選挙後の暴動なども予測され、板張りのバリケードをしているお店もありましたが、当地は幸いにも守られています。まだ混沌としたアメリカの状況にあり、ただただ主の御心だけがこの地になされるようにお祈りしております。

例年ですと、10月末から11月初旬にかけてイスラエル派遣が遣わされますが、今年はイスラエルがロックダウンのために中止になりました。当地の他教会の姉妹が、次回のイスラエル派遣に参加したいと希望されています。来年、再びイスラエル派遣が遣わされるようにお祈りしています。ロサンゼルス教会の礼拝では、ヘブライ語でも賛美を捧げて主にお仕えています。

ロサンゼルス教会の働きのために、そしてさらに主に聞き従って主の御心が出来ますように、どうぞ続けてお祈り下さい。

「なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。」第1ヨハネ5章4節

●ロサンゼルス教会HP  
<http://tleala.wfsmission.info/>

<祈りのリクエスト>

- 1.徹底して祈り、聞き従えるように
- 2.収穫のための働き手が速やかに起こされるように
- 3.霊の賜物の働き(癒し奇跡など)のために
- 4.賛美隊・ITの働きのために
- 5.感謝と賛美の徹底のために
- 6.健康、危険からの守りのために
- 7.教会・個人の経済の満たしのために
- 8.引越しの為に(教会事務局・牧師宅)
- 9.速やかに英語力が引き上げられるように

北米部門の宣教師の保険加入のためにお祈りください

北米宣教師の保険料のためのお祈りとご献金を本当に有難うございます。ダンケン里子牧師の医療保険の必要は満たされました。どうぞ引き続き、フェイス佐々木牧師の医療保険の必要が満たされるよう、お祈りとサポートをよろしくお祈りいたします。



■エルサレム 瀧野真弓 (TLEAハワイ教会牧師/TLEA  
ロス教会協力牧師)



主を崇めます。皆様の尊いお執り成しとお捧げものを心より感謝申し上げます。

ハワイ州では、11月6日から、新型コロナ事前検査プログラム(事前のPCR検査陰性で、ハワイ到着後14日間の自己隔離の免除)が日本人旅行者にも適応されています。感染率が低く、マスク着用習慣のある日本人旅行者の方々は大変歓迎されているそうです。現在実施されている、感染率データに基づいたハワイの経済回復プランも、11月末時点で4段階中の2段階目に進んでおり、また、春以降滞っていた郵便事情にも回復の兆しが見られ、6ヶ月振りに月刊誌「雲の間にある虹」が届き、主に感謝しております。

長年観光業に関わる仕事に就いてこられたY姉妹が、主のお導きに従って転職された事については既にお証させて頂きましたが、この群れの昨年度末に当たる10月31日に、姉妹の元職場の方々は全員解雇になられたそうです。その中で、姉妹の職場は11月1日付けでコロナ対応の変則勤務から通常勤務に戻り、姉妹はお仕事に全面復帰されました。姉妹への主のお導きとお守りの完全さに深く感動し、改めて主をほめたたえております。

更に、新年度の歩みに於いて、この群れに与えられた今年度の御言葉「I ヨハネ 5:4」に固く立って、主にお従いし、御心を成していけますよう続けてお祈り頂けましたら幸いです。栄光在主



< 祈りのリクエスト >

1. 徹底した祈り聞き従いと、徹底した感謝・賛美・喜びのため
2. TLEAハワイ教会の新年度の歩みのために
3. コロナの終息、Y姉妹のご奉仕とお身体の完全な癒しのために
4. LA教会の協力牧師としてのみ心の全うのために
5. AI、IT、SNS、映像、賜物、賛美隊の働きにおいてみ心を成していけるように
6. 速やかな英語力の引き上げのために
7. 健康・安全・経済のために

●ハワイ教会HP

<http://tleahawaii.wfsmission.info/>



■上館 千恵子ジョンソン  
(TLEAデンバー教会/バトンルージュ教会牧師)



主イエス・キリストの素晴らしい御名をほめたたえます。皆様のとりなしのお祈りと尊いご献金を心から感謝いたします。

他の州もそうだと思いますが、コロラド州もコロナの感染拡大がひどく、今週から、レストランでのイートインが禁止となり、営業時間も短縮という状況になりました。

医療施設でバイトをしていますが、週2回のPCR検査を必ず受けなければならず、具合の悪い人は仕事に来ないようにと言われていました。先週の木曜日にPCR検査を受け、陰性だったのですが、金曜日から具合が悪くなり、「土曜日のバイトに行けないかもしれない」と上司に伝えました。すると、すぐにPCR検査を手配してくださり、電話してから20分ほどで、検査を受けることができました。

最初、鼻水と鼻づまりと頭痛がしていたのですが、次の日になると、少し熱が出てきて、でも、薬を飲むと熱が下がり、具合も良くなるというのを繰り返していました。今日、検査結果が出て、コロナの陽性だと分かり、12月1日まで仕事を休まなければならなくなりました。

主人も微熱と軽い咳が出ていましたが、検査に行った先で、ドクターの診察を受け、PCR検査の結果は明後日分かりますが、陽性だとしても、酸素濃度も血圧も熱も正常ということで、軽症ですと言われました。



大変な状況は許されましたが、休んだ分のお給料もいただけるということで、主の守りを心から感謝いたします。

<祈りのリクエスト>

1. 祈り聞き従いのために
2. コロナの完全な癒しのために
3. 蕁麻疹の完全な癒しのために
4. SNSの働き
5. 21世紀型宣教のために
6. 経済のために
7. 健康のために

【NEW】●デンバー教会HP  
<https://tleadenverchurch.com/ja/>

●バトンルージュ教会HP  
<https://www.tleabatonrouge.com/>

ミッションパートナーを募集しています！

聖所から流れ出る水ミッションでは、祈りと献金(毎月一口千円以上)をもって、海外宣教の働きに加わっていただく、ミッションパートナーを募集しています。現在、当ミッションからは、アメリカ(NY、ロス、ハワイ、デンバー、バトンルージュ、サンディエゴ)、イスラエル、チェコに宣教師・奉仕者を遣わし、各地での教会の働きがなされています。これからも、神様により、リバイバルの働きに向けて、世界の五大陸において教会設立がなされることが語られています。

この、海外宣教全般の働きを支えていくために、当ミッション事務局を運営していく上で、さらに多くの祈りと献金を必要としています。ぜひ、海外宣教の働きに重荷をもたれた方は、ミッションパートナーとして登録していただき、祈りと献金をもって、海外宣教に加わっていただきたいと思っております。重荷を持たれた方は、東京事務局まで、電話、ファックス、又はメールでご連絡いただければ幸いです。

(又、TLEAの方は、各教会で登録を受け付けています。)

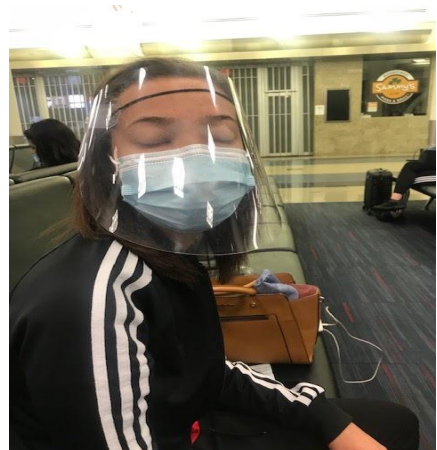
■ダンケン里子  
(TLEA賛美の柱サンディエゴ教会牧師)



<祈りのリクエスト>

1. 祈り聞き従い
2. 感謝と賛美
3. 賛美の働きの為
4. 賜物の働きのため
5. 御心のインターネットの働きのため
6. 語学力のため
7. 教会成長のため、礼拝場所のため
8. 娘のいやし
9. 新しい御心の仕事、また結婚の為

●賛美の柱サンディエゴ教会HP  
<http://tleasandiego.wfsmission.info/>





## ■B.N.

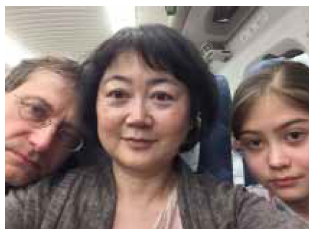
<祈りのリクエスト>

1. 祈り聞き従い、主の御心だけを行うことができるように
2. 御心の方々との出会い、関わりが開かれるように
3. エルサレム、テルアビブ教会の働きのため、また奉仕者が与えられるように

4. 経済的な必要のため
5. テロ、事故など危険からの守りのために
6. 健康のために
7. 賛美隊のために
8. 賜物が開かれ具体的に用いることができるように

# Czech チェコ

## ■マレック&サリー ヤクサロジェノバー (TLEAプラハ教会)



アホイ！いつも皆様の熱いとりなしのお祈りと尊い献金を心から感謝します！

チェコのコロナ感染状況は、10月に比べ、少し良くなってきました。私たち家族も教会の皆さんも完全に守られています！皆様のとりなしのお祈りを心から感謝します！

11月に入り新しい動きが二つ起こりました。一つ目は、プラハ教会の礼拝は今非常事態宣言が発表されて以来自宅でZoom等のアプリを使って礼拝をしていましたが、今までブルノ在住のR姉妹はそういった環境が自宅になく、参加は不可能でした。しかし今月からZoomを使いリアルタイムで共に礼拝に参加できることになりました！ハレルヤ！また娘のノエミはマラナタ教会をお借りしての礼拝には、しばらく来ていませんでしたが、自宅で礼拝をするようになって、彼女の部屋はすぐ隣の部屋なので賛美も説教も全て聞きたくなくても聞こえてしまっているので、非常事態宣言が益となりました！この状況を備えてくださった主に感謝します！

また11月下旬にわたしたちの群れの教会でWebフェスティバルがあり、わたしも出演させて頂くことになりました。出演が決まってから開催日まで、すでに2週間を切っているという、ぎりぎりの状態でした。わたしは最近オリジナルの曲が出来上がったので、この依頼を受けた時、すぐこの曲を歌いたい！と思いました。

しかし音源を一から作成しないといけません。あと10日くらいしかないのに絶対間に合わない！と思いましたが主に必死に祈りました！

そうしたら、うそのように次から次へと助け手を与えられ、しかもその方々が見事な超特急連携プレーをしてくださり、音源があつと言う間に出来上がってしまったのです！しかも最高のものが！あまりにも音源が素晴らしかったので、これを自宅で歌うのはもったいない！と思い、提出期限の日の午後、マレックといっしょに公園に行き、撮影してもらい、同じ日の夜ビデオを編集するというすごいスケジュールになってしまいました。

動画制作も初めて、本格的な編集作業も初めてという状況でしたが、完全に守られてなんとか提出期限に間に合い提出することができました！複数の方々をお願いした音源制作から始まり、動画制作完成に至るまでたった9日で仕上げしてしまうなんて、これは奇跡です！主の御手が動いたとしか言いようがありません！

今回このミュージックビデオ作成にあたって、主にあつて不可能なことは何もないのだと確信しました！映像の働きと再三主に語られている中、わたしたちプラハ教会は、わたしたちにはできないと、全く最初から引いて諦めていました。しかし今回のことを通して信仰の踏み出しを気が付いたらいつの間にかしていました！これにも驚きました！

新年度の歩みに入り、早速新しい信仰の踏み出しができたことがとても嬉しいです！主に全ての栄光をお返しします！

いつも皆様のとりなしのお祈りを本当にありがとうございます！ではアホイ！

<祈りのリクエスト>

1. 主の御心に聞き従えるように
2. 御心の人への伝道が開かれ、実行できるように
3. プラハ教会に更に人が集められ、奉仕者及び奏楽者が建て上げられるように
4. 救われた友人たちの信仰が正しく成長し、教会につながるよう、また中傷、批判の霊から 守られるように
5. マレックのお母さんの病の癒しのため(椎間板の損傷からくる腰痛)
6. マレックとともに更なるポーランド宣教、他の国への宣教が開かれるように
7. ロシアのメシニックジューの L 牧師と彼の教会との御心の関わりのため
8. プラハ教会の賛美隊の働きが祝福されるように
9. チェコ政府のために(ロシア政府の威圧から守られるように)
10. ヨーロッパ難民問題が主にあつて解決されるように
11. 日本の家族の救いのため
12. 御心のときに家族でイスラエルへ行けるように
13. 御心のときに家族で白馬キャンプに参加できるように

●プラハ教会 HP  
<http://tlccc.net/praha/>

「殉教地に注がれるご臨在・・・空間がねじれる様な強烈なご臨在

1993年10月28日から11月13日まで、TLEAの教会からの第7回イスラエルチーム(13名)に私も参加しました。このイスラエルチームは、まずエジプト・カイロに入って、シナイ山に登って、陸路でイスラエルに入る、言わば「出エジプト」のチームでした。私はかつて石油会社の駐在員で、カイロに住んでいたこと、出張者をお連れしてシナイ山に行ったことがあったこと、一人でエルサレムに行つてそこで救われたこと、など、過去の体験がノンクリスチャン時代も含めてすべて益になっていると深く感じたチームでした。

さて、このチームは行きはアリタリア航空でローマ経由でのカイロ行きでした。何とか、ローマでペンション(宿)が決まった後に、コロッセオ(円形闘技場)に向かって皆で歩いて行きました。すでに夜になっていました。その時に、とても不思議な体験をしました。それは、空間がねじれるような強烈な神様のご臨在を感じたのです。それも、私一人だけでなく、副リーダーの長崎教会のイザヤ木原真牧師をはじめ、「これはなんだ！」と思わず声に出したほどのご臨在でした。

私は、初めてのコロッセオだったので、そこに着いたときに、ただ十字架が 1本立っていただけだったのには驚きました。私は、コロッセオがどんな所かその時は全く知らなかったのです。後になって、コロッセオではクリスチャン迫害がすさまじい時に、火あぶりにされたり、ライオンに食われたりして、多くのクリスチャンが、殉教した場所である所だと知りました。

そのコロッセオでのご臨在が忘れられない体験となったので妻と話して、1994年12月に新婚旅行でイスラエルに行った時に、ローマ経由にして、一緒にコロッセオに行くことにしました。ローマに到着した時に、妻は疲れてバスで寝ていたようですが、途中でものすごい臨在を感じて、神様が励ましてくれたのかなと思つて、目を開いたらコロッセオがものすごく大きく目に入ってきたそうです。それで急に元気になったそうです。コロッセオに昼間に行くと、観光客が多くてそう言ったご臨在が、かき消されていたのかもしれませんが、夜や朝にはご臨在を強く感じました。

コロッセオでは、そうした悲惨な出来事がなされた地というので私は、きっと暗い所かと思つていました。ところが全く逆でとても明るかったのです。天国が開かれている感じを受けました。私は、どこかで似たような、ご臨在を感じた気がして「どこだったか・・・」と、思い浮かべていたら、それは、26聖人の殉教地の長崎の西坂と似ていると気がつきました。ただ西坂が線香花火とした、コロッセオは、打ち上げ花火のようにもっと大きな感じでした。コロッセオや西坂などの殉教地には、特別なご臨在が注がれて、天国が開かれていると思ひました。それは殉教者たちが最後までキリストを信じて、天国に凱旋(がいせん)したからそうなのかもしれません。

TLEA 映画ミッション ペテロ窪田